

このページはボランティアの市民の方が取材・作成しています



## 令和元年度 あま市平和祈念式典

令和元年10月19日(土)午前10時30分から、甚目寺公民館で式典が厳かに開催されました。

黙祷、国歌演奏、市長・遺族代表など来賓による『平和祈念のことば』に続き、令和元年度は初めて、市内中学生10人による平和体験学習の報告がありました。平和体験学習は毎年行われ市内中学校5校から選ばれた男女各1人(3年生)が、8月8日(木)・9日(金)に広島県広島市を訪れ、広島平和都市記念碑での献花や被爆体験者による講話、4月25日にリニューアルオープンしたばかりの広島平和記念資料館などの見学から、戦争の悲惨さや平和の尊さを学ぶ機会です。

平和を願う人々が集う式典会場は、中学生一人ひとりの素直な言葉が心に染みわたり、発表後には、この日唯一の盛大な拍手が生徒たちに送られ、とても感動的な場面となりました。

式典の最後には、会場に集まったすべての人々による献花が舞台上で行われ、女子中学生は白い菊の花を渡すお手伝い。男子中学生は会場出口で一人ひとりに「ありがとうございました」とやさしく声掛けしながら頭を下げるお見送り。慣れない役目を真摯に行う姿を頼もしく感じました。また、数名の方から、「良かったよ」「ありがとう」と声をかけられ、照れながらも嬉しそうにしている様子も微笑ましく思いました。

広島での原爆による強烈な印象を仲間と共有し、今回の式典で発表する大役を経験した彼ら、引率をされた甚目寺中学校の先生お二人へのインタビューの印象からも今後は楽しみです。

### 《最後に、中学生の報告の中から心に残ったフレーズをご紹介します》

- ◆「こんなことが実際にあったんだ」という驚きと恐怖でいっぱいでした。
- ◆戦争についての知識を深めたと同時に、平和の大切さをすごく感じることができました。
- ◆平和体験学習に一緒に行った仲間たちと他愛もない話で笑えたこと、これが平和なんだと思いました。
- ◆同じ過ちを繰り返さないためにも、戦争の悲惨さを後世に伝え、残していくことが今の時代に生きる私たちの使命ではないでしょうか。
- ◆今回学んだことをたくさんの人に伝え、戦争のない時代に生きていることをよりありがたみを持っていけたらいいなと思いました。



※中学生の体験報告は市公式ウェブサイトに掲載されています。

#### ■編集後記■

初めて式典に参列し、遺族代表の飯田さんが戦争でお父さんを亡くされていたことを今回知りました。大変ご苦労されたことと思います。いろいろなボランティアをされている以前からの知り合いで、やさしい笑顔の素敵なお方です。そして、今回体験学習の引率をされた先生方が教師生活をとても楽しんでいらっしゃる様子に親しみを感じ、生徒たちの、のびのびさも理解できました。

by 市民記者 あみゆ

